

林 典子 (オルガン)

神戸女学院大学音楽学部卒業、同専攻科修了。ドイツ国立ヴェルツブルク音楽大学大学院に留学、コンツェルトディプロムを取得。同大学の伴奏要員に就任し、主にコントラバス他弦楽器や声楽の伴奏を務める。ミュンヘンコンクールを始め、数々の国際コンクールやセミナーに於いて公式伴奏を務める他、リサイタル開催、CD録音、テレビやラジオ出演などドイツや日本国内外で演奏活動を行う。元ベルリンフィル首席コントラバス奏者ナビル・シエハタ氏や元ウィーンフィル首席クラリネット奏者ペーター・シュミードル氏等の来日公演にて共演を重ねている。また、神戸モーツァルトアンサンブルとコンチェルトを2度共演している。オルガン歴としては、学生時代に夙川カトリック教会にて御ミサの演奏を務める。これまでに前中明子、ボリス・ベクテレフ、故ミハエル・シュリューター各教授にピアノを、室内楽を文屋充徳教授に師事。兵庫県立伊丹北高校非常勤講師、神戸女学院大学伴奏要員を経て、現在大阪青山大学非常勤講師、神戸音楽家協会会員。

三浦幸未知 (テノール)

武蔵野音楽大学音楽学部声楽学科卒業。三年間のサラリーマン生活の後、イタリアへ一年間留学。06年ローマ近郊の教会にてモーツァルト生誕250年記念コンサート「戴冠式ミサ K.317」のソリストとして招聘される。オペラでは08年イタリア文化会館ブッチーニ生誕150年記念オペラ「ラ・ボエーム」ハイライトでオペラデビュー以来、多くの作品に出演。TBS系列東日本大震災「絆プロジェクト」では赤坂サカスのラジオ特設会場に於いてゲスト出演し、被災地への応援メッセージと歌を披露する。上野公園内旧奏楽堂に於いて初ソロリサイタルを開催。16年イタリア・ソレントに於いて、ソレント市後援による日伊国交150年イベント Sorrento Japan Festival に出演し、ソレント市より感謝状を授与される。18年6月イタリアローマ (Chiesa San Paolo entro le Mura) にてソロリサイタルに出演。同年10月イタリアローマ Sala Espositiva PILGERZENTRUM にて Biennale d'Arte Internazionale XIII EDIZIONE 2020 "Mostra di Selezione" にて招待演奏をし Premio を授与される。同年イタリアローマ Villa Lante Sacro Cuore 子供病院にて12月ヴァチカン日本大使館夫人主催アーティストによるクリスマスバザーゲストとして出演。その他、多くのコンサートなどに出演。近年では日伊交流のための活動に力を入れている。

山下 伶 (クロマチックハーモニカ)

クロマチックハーモニカ奏者。埼玉県春日部市出身。横浜市在住。桐朋学園芸術短期大学音楽専攻(フルート)卒業。卒業後クロマチックハーモニカの音色に魅せられ、日本を代表するクロマチックハーモニカ奏者の徳永延生氏に師事。2014年 第34回 F.I.H. JAPAN ハーモニカ・コンテスト総合グランプリ受賞。2016年7月20日には、ビクターエンタテインメントよりアルバム「Beautiful Breath」でメジャーデビュー。2017年2枚目のメジャーアルバム「Candid Colors」を日本コロムビアよりリリース。

アルバム収録自作曲「Sky Color」が日本テレビ系 news every. お天気コーナーテーマソングに決定(2017年12月~2018年2月)2017年7月~12月、エフエム横浜 84.7MHz「メラタデサンデー」内のコーナー番組「SUNDAY HAPPY LIFE」リポーター担当。2018年7月25日発売 東方神起のシングル曲「Road」レコーディング参加。2018年8月 第6回ソウル国際ハーモニカフェスティバルに審査員、ゲストプレーヤーとして参加。9月26日発売 シャンソン歌手クミコのアルバム収録曲「風のささやき」レコーディング参加。2018年10月1日「Candid Colors」が韓国のレーベル Santoki Music からリリース。2018年10月 WOMEN IN JAZZ VOL.9 にて、本田雅人 B.B. Station、寺井尚子と共演。「銀河鉄道999」シンフォニック・コンサートにて、東京フィルハーモニー交響楽団と共演。出身地、埼玉県春日部市に2019年4月開校する春日部南中学校の校歌、作詞、作曲を担当。2018年12月19日3枚目のメジャーアルバム「Dear Daring」を日本コロムビアよりリリースし、ジャズ専門雑誌 JAZZ JAPAN AWARD 2018 制作企画賞 受賞

吉本梨乃 (ヴァイオリン)

ウィーン在住。2003年神戸、六甲アイランド生まれ。

「熱心な音楽ファンからクラシック音楽に無縁だった人まで、全ての聴く人にその曲の素晴らしさ、音楽の喜びを色豊かな音色とエネルギーでダイレクトに届けたい! お客様と音楽を通して幸せを共有したい! 聴けばハマル演奏家でありたい!」

3歳からヴァイオリンをはじめ、横浜国際音楽コンクール、KOBE 国際音楽コンクールなどの国内のコンクールで優勝。

中学以降は海外のコンクールに挑戦し、12歳で第5回エミル・カミラロフヴァイオリンコンクール(ブルガリア)第1位、及びベストアーティスト賞、セントシリル&セントメソジウス国際財団賞を受賞。また、13歳、14歳では、第23回、第24回ヨハネス・ブラームス国際コンクール(オーストリア)に最年少で参加し、審査員特別賞受賞、ワディム・レーピン賞を受賞した。レーピン氏は、スポーツニク日本のインタビューで「彼女は新米の演奏家だが、恐らくそのうち世界クラスの本物のスターになるだろう」と語った。

15歳では、イタリアの第16回パドヴァ国際音楽コンクールに飛び級で参加し、弦楽器部門で優勝したほか、全部門グランプリ及び、ヴィルトゥオーゾ賞も受賞。オーケストラとソリスト部門でも、優勝し、全部門制覇の快挙を成し遂げた。

9月にウィーンで行われた歴史と権威ある第9回クライスラー国際ヴァイオリンコンクールでもコンクール史上最年少で入賞の快挙。

国内では、第40回 神戸灘ライオンズクラブ音楽賞を同賞史上最年少で受賞した。受賞記念コンサートでは700人の観客を魅了した。

また、今年の6月にはニューヨークのカーネギーホールで開催される、世界的なギフトド支援団体 AADGT (THE AMERICAN ASSOCIATION FOR DEVELOPMENT OF THE GIFTED AND TALENTED) の創立25周年ガラコンサートに招待されている。

オーストリア、アメリカ、イタリア、ブルガリア、スロベニア、カナダなど欧米での演奏活動も精力的に行ない、活動の場を広げる一方、地元神戸の地域の催しにも積極的に参加するほか、Alegria の支援を受け、関西だけでなく東京でのリサイタルにも力を入れている。

ソリストとして、大阪交響楽団、千里フィルハーモニア・大阪、神戸フィルハーモニックオーケストラ、ブルガリア国立ソフィアフィルハーモニー、及びシンフォニエッタソフィア、イタリアのパドヴァとヴェネトオーケストラと共演。アメリカの第14回、第16回ノーザンライツミュージックフェスティバルに招待され、ソリストとして Gavriel・Heine 氏指揮 NLMF オーケストラと共演。

これまでに、逸見悠子氏、木田雅子氏、ジェラルド・プーレ氏、マウロ・イウラート氏に師事。

14歳から現在までオーストリアのウィーン国立音楽大学のミハエル・フリッシェンシュラーガー教授のもとで研鑽を積んでいる。

また、東京音楽大学付属高校に特別特待生として在籍し、海野義雄教授に師事。

使用楽器 2014年製 Vincenzo Ferretti 作 RINO Yoshimoto

~Alegria は、あなたとアーティストの架け橋になりたい~

スペイン語で喜び、楽しみ、幸せの意味です。

Andante 音楽教室の生徒たちと卒業生、関係者で本物の音楽をお届けしたいとコンサートを企画・演奏する団体として活動しています。

お客様、演奏者、企画者、司会、受付... そのコンサートに関わる全ての方が笑顔になるコンサートが Alegria の理想です。

企画したコンサートの収益の一部を寄付致します。アンケートでお客様にお選び頂き、寄付先を決めたいと思います。

※本コンサートの収益の一部を東京カテドラルマリア大聖堂に寄付致します。